

2月2日(月)

令和八年度  
A日程入学試験問題

国  
語

— 注 意 事 項 —

- 2 1 問題は1ページから30ページ、解答用紙は一枚である。  
次の指示にしたがうこと。
- 文学部（日本文学科・中国文学科・史学科）は**1・3・4**を解答すること。  
文学部（外国語文化学科・哲学科）、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、  
観光まちづくり学部は**1**が必須、**2・3・4**から一つを選択して解答すること。  
（解答する問題番号を、解答用紙のマーク欄にマークすること。選択問題を複数解答  
した場合は無効とする）
- 4 3 解答はすべて別紙解答用紙に記入すること。  
試験時間は六〇分である。

省略 の箇所は、著作権の都合上省略しています。



1

〔全学科の必須〕

文学部日本文学科・中国文学科・史学科は解答欄 1 ～ 10 に、文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は解答欄 1 ～ 14 に解答すること。

（文学部日本文学科・中国文学科・史学科は問一～問八で40点）

（文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は問一～問十二で70点）

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

## 省 略

省 略

省 略



問四 傍線部(c)の説明として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 6 にマークしなさい。

ア 歴史を、ヨーロッパを対象に起源と変遷を理解する、もしくは発展するヨーロッパという実感に基づいて意味づけようとするような考え方が生まれたということ。

イ 歴史を、現在の問題の背景を探り出す対象として捉える、もしくはそこから合理的な進歩のあり方を探り出すものとする方法意識が生まれたということ。

ウ 歴史を、原因と経過とを明らかにしてその形成のありようを合理的に探究する、もしくは進歩的な方向に発展していくものとして捉える見方が生まれたということ。

エ 歴史を、時代の形成過程を知性の働きで理解する、もしくはその発展していくヨーロッパが持つ意味を哲学的に解釈しなおす契機が生まれたということ。

オ 歴史を、原因とプロセスに分けて合理的に解釈する、もしくは進化した人間の立場から過去を知性の力によって捉えようとする見方が生まれたということ。

問五 傍線部(d)の理由として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 7 にマークしなさい。

ア 充足感の不在は、知性で捉えられた発達史的な歴史がもたらす物質と精神の対立という構図に原因があるので、歴史を発達法則のうち捉えようとする歴史観そのものを問わなければならないから。

イ 充足感への渴望は、身体や生命が訴える危機感からくるものなので、知性が見つけ出した発達した社会のイメージに依存する心の豊かさばかりに注目しているのは問題の本質を発見することはできないから。

ウ 充足感へのこだわりは、物質的な豊かさの実現と引き換えに広大で深遠な世界から隔離されてしまったことへの後悔の念からくるので、再び「みえない知性」を取り戻すことでは解消することはできないから。

エ 充足感の欠如は、知性が捉える現象としての自分と「みえない歴史」の中に存在する自分とのずれに起因するので、知性がもたらした発達史的な見方に即しては解決の糸口をつかむことはできないから。

オ 充足感の喪失は、近代ヨーロッパでの問題意識が生み出した歴史観がグローバル化した世界で機能しなくなったことを意味するので、知性が不可視化した存在の所在を明らかにするしかないから。

問六 傍線部 (e) の理由として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 8 にマークしなさい。

ア 不可逆な時間の流れを合理的に発展するものとして捉える歴史観に立つと、現在の知性を合理的な発達過程を経て生じたと感じることに疑いを抱かずにすんでしまうから。

イ 過去・現在・未来と直進する時間を発達史という観点から捉えると、現在の知性の発生が抱える存在の不合理性からは目を背けて知性を肯定することができるから。

ウ 進み続ける時間を発生と発展の過程とに分けて考えると、知性は合理的に発達するものだという幻想をいつまでも抱き続けることが可能になるから。

エ 時間に発展することを求める知性がもたらした歴史認識を自らの内に感じると、知性の獲得が合理的な発展の結果であるという誤った理解から自由になることができるから。

オ 直進的な時間に因果関係を見出すような歴史感覚を身につけると、現在の知性の成立が合理的になされたと明らかにすることができなくなってしまうから。

問七 傍線部 (f) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 9 にマークしなさい。

ア 発展する歴史というのは時間に合理的であることを要求する知性が陥った錯覚に過ぎず、身体の記憶や生命の記憶といった人間という存在の根本にかかわることを理解するには、まずその歴史観を捨て去る必要があるということ。

イ 発展法則のなかで歴史を捉えようとするのはヨーロッパが進化し続けるという思い込みがあったためであり、そこから生まれた歴史哲学では技の伝授という形式で行われる身体や生命の循環の歴史はそもそも考察の対象としてはこなかったということ。

ウ 歴史が合理的な因果関係によって成立するように見えるのは知性が自己肯定のためにそれを求めたからに他ならず、その知性のありようからは、身体や生命が記憶し、その記憶を他者が受け継ぐような歴史は捉えることができないということ。

エ 歴史は合理的な発展の結果であるとするのは知性が自らの成立を不可避なものとして位置づけるために用意した物語なのであり、その物語においては循環的に再生する身体や生命に関する記憶は捉えられなくなるということ。

オ 過去から現在、未来へと発展的に続く歴史という見方は、自己を合理性のある世界に置くことで安定させたい知性の戦略によるもので、その立場にあると知性が及ばない領域からつかみ取られた身体や生命の記憶は認識不能となるということ。

問八 問題文の主旨として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 10 にマークしなさい。

ア 私たちが「みえない歴史」から遠ざかる理由は、知性によってつかみとられた歴史を唯一のものとして受け取らされているところに求めることができる。近代ヨーロッパで発展した合理性を重んじる考え方は、その方法によって発展してきた世界にある人々の実感に裏打ちされ、歴史をも因果関係のうちに捉えることができると思われ、その錯覚は現在の問題意識に取り組む知性とながっており、身体や生命から歴史を理解することを阻み続けている。こうした知性から自由になって全体としての自分の存在を取り戻すには、発達史的な歴史のなかで実現されてきたものの問題点を見極め、ベルクソンが直観ということばで語ろうとした、知性の向こう側に広がる世界へと自ら踏み出すことによって循環しながら発生する歴史に新たな法則を見出さなければならないのである。

イ 私たちが物質よりも心の豊さを求める声に惑わされてしまう原因は、歴史を発展法則のうちに捉えようとする知性の限界に気づいていながら頼ってしまうことにある。近代ヨーロッパがもたらした知性による世界の把握は、世界が成長過程にある間には、歴史と知性とが互いを補完し合う形で機能しえたが、自由で豊かな市民社会が仮にも実現した現在にあつては、新たな知性のありようが必要とされている。もはや幻想となった発展という観点からの歴史認識を改め、みえていなかった歴史の領域を可視化するために、現在の問題意識に貫かれた知性に代わって、身体や生命の記憶を技として受け継ぐ思考の方法を駆使して、非知性の領域にあるものをつかみとりさえすれば、存在の全体性を回復させて満ち足りた思いをもって生きることができるようになるのである。

ウ 私たちが知性に絶対的な信頼を寄せて問うことをしない理由は、知性によって把握された現象としての自分を全体としての自分であるように錯覚させられることにある。知性が現在の問題意識に沿って歴史がどのように作られたかと問い、そこから時間の推移を因果関係として捉えようとするのは、知性自体が過去・現在・未来へと動く合理的で直線的な時間を仮定することで成立したからであり、自らの正統性を保証するために歴史認識を合理性のもとに行つたに過ぎない。そうした歴史の捉え方を肯定することが知性の虚構性から目を背けることを意味する以上、錯覚から目覚めるために、生命に刻まれてある無意識の集合意識をよみがえらせ、意識されていない知性として働かせて「現在の知性」の外にある自分を取り戻していかなければならないのである。

エ 私たちが充足感の乏しさを覚える原因は、知性によって捉えられる現象としての私と、知性の及ばない領域に存在の根本がある自分との間のずれにある。近代思想は知性を絶対視したが、その知性は合理的な因果関係を見出しうるものとして歴史を発生史や発達史の観点から描いた。ヨーロッパは発展し続けるという思い込みを背景にして、歴史のこうした捉え方は確固たるものとなったが、今日の私たちもこの歴史観のなかにあるため、自身が存在する非知性の領域を捉えられなくなつてどこか空虚な思いを抱えることになる。知性ではみ

えない歴史をつかむには、自らを合理的に発展するものと捉える知性の自己肯定のために用意されたようなものとは異なる、身体や生命が認識し記憶して、人を介して伝わる循環的なありようとしての歴史を想起しなければならないのである。

オ 私たちが発展という幻想から逃れられない原因は、知性の把握する現象こそが歴史の名に値すると思いつまされているところにもとめることができる。時間は常に直進してそのなかには因果関係を見出すことができるのが知性の発生の条件であり、そうした時間もありようとしての歴史を知性自身が必要とするというこの転倒した歴史把握は、一方でより豊かな生活を望む人間の思いに沿う形のものでもあったため支配的な考え方となった。直線的に発展する世界というビジョンが機能しなくなった現在でも人々の歴史認識は変わらず、ただ充足感の欠如として自覚しているだけの状況を打ち破るには、歴史の本質である循環的な時間について、身体や生命の記憶に沿って探求する方法を見出して受け継いでいかなければならないのである。

**注意**

文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は、次のページに問題が続きます。

←

問九 (文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部のみ解答すること)

波線部 (X) の説明として最もふさわしいものを、次の A～オの中から一つ選び、解答欄 11 にマークしなさい。

A 現在の問題意識によって知性が見出した歴史には、身体や生命によってつかむことができる領域にあるものに関する記憶の蓄積は含まれていないということ。

I 時間に合理的な因果関係を要求する知性が発見するものには、知性の及ばない領域にある人間存在の進化についての仕組みに関する情報は含まれないということ。

ウ ヨーロッパに起源をもつ知性によって培われた現在の歴史認識には、他の地域の人々の身体や生命に関する記憶が含みこまれていないままとなっているということ。

E 現在の知性に絶対的な信頼をおいて探求された歴史には、人間の存在の根本に関わる人類史や生物史についての記憶が欠落してしまっているということ。

オ 人類の発達のプロセスを合理性のあるものとして捉えた歴史では、現代人を苦しめる充足感の乏しさの原因である「みえない歴史」の問題点が軽視されているということ。

問十 (文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部のみ解答すること)

波線部 (Y) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 12 にマークしなさい。

ア ベルクソンは「直観」ということばで、知性の及ばない領域での出来事が身体の記憶や生命の記憶としてときおり人間存在に訪れ、充足感を奪っていることを表現しているということ。

イ ベルクソンは「直観」ということばで、知性の現在の問題意識からは追いやられた生命の記憶や身体の記憶が、人類の歴史に果たしてきた役割に目を向けるよう求めているということ。

ウ ベルクソンは「直観」ということばで、知性では捉えられない人間の精神的な領域こそが、歴史を動かしているという認識の重要性を伝えようとしたのだということ。

エ ベルクソンは「直観」ということばで、知性の働きによって合理的には把握することはできないが、身体や生命によってつかみとることができるものがあることを示したということ。

オ ベルクソンは「直観」ということばで、知性によって理解したことを絶対視してしまうヨーロッパの哲学が抱える矛盾を批判しようとしたということ。

問十一 (文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部のみ解答すること)

波線部 (Z) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 13 にマークしなさい。

ア 知性は人類の生活に資するために発達史的な歴史というビジョンを必要としたということ。

イ 知性は自らの認識が及ばない領域を不合理として退けて歴史を可視化しようとしたということ。

ウ 知性は何らかの法則に基づいて発生し発展したものとして歴史を捉えようとしたということ。

エ 知性は発達史や発生史という観点を導入して歴史を哲学的に形成し直そうとしたということ。

オ 知性は直観のくびきを脱して因果関係のなかに歴史を位置づけてみせようとしたということ。

問十二 (文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部のみ解答すること)

問題文の内容としてふさわしいものを次のア～カの中から二つ選び、解答欄 14 に二つマークしなさい。

ア ヘーゲルやマルクスは発展法則のなかで捉えることで「みえない歴史」を明らかにしようとした。

イ ベルクソンは知性への批判という点でショーペンハウエルら「ロマン派」を「百科全書派」から擁護した。

ウ 「現在の知性」の及ばないところにある無意識の集合意識が歴史を動かすとユングは考えていた。

エ 知性が自ら必要とした発達史的な歴史が人々にもたらしたのは「物理的な豊かさ」だけではない。

オ 現在の問題意識に依った知性は、合理的な発展のうえに成立した歴史を認識することができない。

カ 知性を絶対視しているうちは、身体や生命の記憶として循環的に伝えられる領域に広がる歴史は認識できない。

**2**

〔文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部の**選択**〕  
この問題は、解答欄 **21** ～ **27** に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(30点)

## 省 略

省 略

## 省 略

(注) ○BAN―禁止・破門・追放を意味する俗語。

○バフ／デバフ―バフは能力の強化、デバフは能力の弱体化のこと。

○アナロジ―類似。

問一 二重傍線部 (1)・(2) の意味として最もふさわしいものを、次の アイオ の中からそれぞれ一つずつ選び、(1) は解答欄 21 に、(2) は 22 にマークしなさい。

(1)  
21

- ア 区分されたそれぞれの領域を表している面
- イ 物事の全体像を理解するうえで必要な観点
- ウ 出来事のあらましを適切に写し出したもの
- エ ルールや法などに即して示されている解説
- オ 物事や概念などの外形をふちどっている線

(2)  
22

- ア 感動的な
- イ 徹底的な
- ウ 保守的な
- エ 微温的な
- オ 進歩的な

問二 傍線部 (a) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 23 にマークしなさい。

ア 審判に該当するような第三者に判断を委ねて注意や警告などを行ってもらい、ゲームそのものを一時的に停止するといった措置を取る  
こと。

イ 出場資格の停止やライセンスの剥奪を課し、長期ないしは永続的にゲームへの参加を禁止するという対応を取り、相手を物理的に遠ざ  
けること。

ウ 空間的に締め出すのではなく、コミュニケーションを打ち切り、ゲームのプレイヤーとは見なさず存在しないものとして対応する  
ということ。

エ 共同体の内部から追放してゲームを続けられないようにし、たとえ謝罪や反省を示したとしても、プレイヤーと見なすような対応を  
しないこと。

オ 友人、恋人、親子といった関係であったとしても時間や空間を共にするような状況を認めず、ルールに即してゲームからの排除を行  
うこと。

問三 傍線部 (b) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 24 にマークしなさい。

ア 駅伝におけるタスキを次に繋ぐ行為が象徴しているように、言語ゲームとは他者との連携が目的化されているということ。

イ 金銭や名誉の獲得などが目的となっていないのではなく、言語ゲームの場合はその継続自体が目的化しているということ。

ウ 承認欲求を満たすために、ゲームにおける目立つプレーを目的とし、試合の勝敗には無関心になってしまった状態のこと。

エ 言語ゲームとは言語が重要であるため、試合の勝利のような目的はなく、しゃべる行為自体が目的化しているということ。

オ コミュニケーションを取るうえで対話が必須となるため、言語ゲームでは他者への配慮が結果的に目的となるということ。

問四 傍線部(c)の説明として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 25 にマークしなさい。

ア ルールを公認の規則集にまとめられるスポーツなどのゲームのように、明確なルールのない人間同士の〈あいだ〉においても、ペナルティの発生を基準とした関係性が作られているということ。

イ どのような人間関係であろうとそこには明確なルールが存在しているわけではないため、多くの場合は実際に起きた出来事を参照しつつ適当に簡単なルールを設けるようになるということ。

ウ 家族や友人との〈あいだ〉には明確なルールが存在しないのに、対立したりわかりあったりしながら信頼関係を築いていくと、実は確かなルールがあつたと気付けるようになるということ。

エ 人間同士には明確な規則があるわけではなく、よそよそしくなつてのけ者にしてしまつたり、あるいは共感して受け入れ合つたりしていくなかで、互いの関係性が作られていくということ。

オ あなたと私の〈あいだ〉には極めてあいまいな結び付きしかないので、付き合つたり別れたりしながら関係性を作り上げ、互いが了解できる明確なルールを設けるようにしているということ。

問五 傍線部 (d) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 26 にマークしなさい。

ア 共同体では、内部への参加が中心人物によって停止されたり許可されたりしていくというメカニズムがあり、しかも人間同士の関係性が希薄になりがちであるため、スポーツなどのルールが確定的なゲームで例えた説明では当たり障りのない部分しか捉えられず不十分であるということ。

イ 日常的なコミュニケーションのように明確なルールブックが存在していない言語ゲームは、スポーツなどのルールが確定的なゲームと同じような対応をしたとしても、排除や包摂といった数多くの障害に阻まれてしまうため、厳しいルールの制定は根本的に不可能であるということ。

ウ 自己と他者との〈あいだ〉では、一方が権力的になって何らかの強制を他方に強いつつルールをルールとして構成し、その結果「一寸先は闇」といった事態が引き起こされてしまうため、チェスやポーカーなどのルールが確定的なゲームのように安定した状態にはなりえないということ。

エ チェスやポーカー、麻雀などのルールが確定的なゲームと同じく、言語ゲームもまた確定的なルールに即して行われているが、時と場合によってはそのルールを無視して対応しなければならぬため、両者は似ているようで深いところではまったく異なっているということ。

オ 日常のコミュニケーションという言語ゲームは、ゲームからの排除がペナルティになるところでは、スポーツなどのルールが確定的なゲームと類似するが、良くも悪くも流動的に人間関係が形成されていくため、ルールの全体像を明らかにできない点で異なっているということ。

問六 問題文の内容としてふさわしいものを、次のア～カの中から二つ選び、解答欄 27 に二つマークしなさい。

ア サッカーにおけるイエローカードやレッドカードの提示は、本来のゲーム進行を停止させた状態で行われるものであるため、階層が一つ上の言語ゲームといえる。

イ 学校での退学処分、企業の解雇処分、悪質なアカウントを「BANする」ことは、いずれも個別的な人間関係には関連させられない、あまりに重すぎる制裁である。

ウ 高校球児たちの目標は甲子園優勝であり、箱根駅伝出場チームの目標は総合優勝であるように、ゲームへの参加には情熱を燃やすに足る報酬が必要になってくる。

エ 同一ゲーム内のプレーヤーであればバフ／デバフの概念が共有化されているが、プレーをする意志を失ってしまうとバフ／デバフの概念自体も喪失されてしまう。

オ チェスやサッカーなどのゲームと、恋愛において「付き合う」ということは、明確なルールが存在するという点でどちらも構造がよく似ている言語ゲームである。

カ ケアとは、他者との関係性を断ち切るのではなく、他者を「包摂（インクルージョン）」し続けることであるのだから、言語ゲームの継続自体とはほぼ同義である。

**3**

〔文学部日本文学科・中国文学科・史学科は **必須**。文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は **選択**〕

文学部日本文学科・中国文学科・史学科は解答欄 **41** ～ **60** に、文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は解答欄 **41** ～ **57** に解答すること。

（文学部日本文学科・中国文学科・史学科は問一～問十二で40点）

（文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は問一～問九で30点）

次の文章は、『源氏物語』の一節で、愛する女性（夕顔）を亡くした男君が、自邸に引き取った夕顔の侍女（右近）を召して、男君の自邸で思い出話をしている場面である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

省 略

(注) ○かのありし院―男君が夕顔と一緒にい行った廃院。そこで夕顔が亡くなった。

○右近は―「右近」は右近の会話文の中で自分をいう。私、右近は。○御乳母―夕顔の乳母で、右近の母。

○捨ておきてはべりければ―後に残して亡くなりましたので。○三位の君―夕顔の父。

○いとしも人に―「思ふとていとしも人にむつれけむしかならひてぞ見ねば恋しき」(『拾遺抄』)による。

問一 二重傍線部(1)～(4)の主語の組み合わせとして最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 41 にマークしなさい。

- |   |        |        |        |          |
|---|--------|--------|--------|----------|
| ア | (1) 男君 | (2) 男君 | (3) 右近 | (4) 三位の君 |
| イ | (1) 男君 | (2) 夕顔 | (3) 男君 | (4) 三位の君 |
| ウ | (1) 男君 | (2) 夕顔 | (3) 夕顔 | (4) 夕顔   |
| エ | (1) 男君 | (2) 夕顔 | (3) 夕顔 | (4) 右近   |
| オ | (1) 右近 | (2) 右近 | (3) 夕顔 | (4) 男君   |

問二 傍線部(a)は誰のどういう気持ちを表しているか。最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 42 にマークしなさい。

ア 右近は気に入くない変な奉公人だなという、男君の気持ち

イ 思いがけず面白い人を召し抱えたなという、男君の気持ち

ウ 夕顔との交際は思いがけず風流だったなという、男君の気持ち

エ 夕顔と男君の交際は意外で奇妙だったなという、右近の気持ち

オ 思いがけず風流な奉公をすることになったなという、右近の気持ち

問三 傍線部 (b)・(d) の意味として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中からそれぞれ一つずつ選び、(b) は解答欄 43 に、(d) は 44 にマークしなさい。

- (b)
- |    |   |      |
|----|---|------|
| 43 | ア | 清楚に  |
|    | イ | 派手に  |
|    | ウ | 優美に  |
|    | エ | 幼稚に  |
|    | オ | 弱々しく |

- (d)
- |    |   |         |
|----|---|---------|
| 44 | ア | かなしい    |
|    | イ | かわいい    |
|    | ウ | はりあいが無い |
|    | エ | 無益だ     |
|    | オ | 気の毒だ    |

問四 傍線部 (c) は、誰が誰を「生ほし立て」たのか。最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 45 にマークしなさい。

- ア 右近が、夕顔を  
イ 御乳母が、右近を  
ウ 御乳母が、夕顔を  
エ 三位の君が、右近を  
オ 三位の君が、御乳母を

問五 傍線部 (e) の解釈として、最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 **46** にマークしなさい。

- ア 右近自身が、はきはきせずしつかりしない性分だから
- イ 男君自身が、はきはきせずしつかりしない性分だから
- ウ 夕顔自身が、はきはきせずしつかりしない性分だから
- エ 右近自身が、信頼できずまじめでない性格であるくせに
- オ 男君自身が、信頼できずまじめでない性格であるくせに

問六 傍線部 (f) はどういうことか。最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 **47** にマークしなさい。

- ア 夕顔を男君の思い通りに教えて妻にしたら、夕顔に情も深まるに違いない、ということ
- イ 夕顔の欠点に目をふさいで見直したら、夕顔を懐かしく思い出すに違いない、ということ
- ウ 男君が理想とする女性像を改めたら、夕顔の死を惜しまずにはいられないだろう、ということ
- エ 右近が思いのままに過去を語ってくれたら、夕顔への愛着がいつそう増すに違いない、ということ
- オ 二人の過去を夕顔の気持ちに沿って見直すにつけ、夕顔に逢いたいと思わずにはいられない、ということ

問七 本文中の和歌についての説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 **48** にマークしなさい。

- ア 「見し人」と「夕べ」は縁語である。
- イ 曇った空に、夕顔の火葬を思っている。
- ウ 「ながむれ」に「長雨」を掛けている。
- エ 夕べの空を、不快なものだと詠んでいる。
- オ 夕顔を育てた御乳母と三位の君を思いやっている。

問八 点線部の助動詞(一)・(二)・(三)の意味として最もふさわしいものを、次のア～キの中からそれぞれ一つずつ選び、(一)は解答欄  
 [49]に、(二)は [50]に、(三)は [51]にマークしなさい。

- ア 受身    イ 打消    ウ 完了    エ 自発    オ 断定    カ 打消意志    キ 打消推量

問九 点線部の動詞(四)「ものし」・(五)「聞こえ」の、

- 1 活用の行    2 活用の種類    3 活用形

は何か。該当するものを、次のア～カの中からそれぞれ一つずつ選び、(四)の1は解答欄 [52]に、2は [53]に、3は [54]に、  
 (五)の1は [55]に、2は [56]に、3は [57]にマークしなさい。

- |   |        |         |         |         |         |        |
|---|--------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 1 | ア ア行   | イ カ行    | ウ サ行    | エ ナ行    | オ ヤ行    | カ ワ行   |
| 2 | ア 四段活用 | イ 上二段活用 | ウ 上二段活用 | エ 下一段活用 | オ 下二段活用 | カ 変格活用 |
| 3 | ア 未然形  | イ 連用形   | ウ 終止形   | エ 連体形   | オ 已然形   | カ 命令形  |

注意 文学部日本文学科・中国文学科・史学科は、次のページに問題が続きます。



問十 (文学部日本文学科・中国文学科・史学科のみ解答すること)

波線部(X)はどうか。次のア～オの中から一つ選び、解答欄 58 にマークしなさい。

- ア 夕顔はもう死んでしまった、ということ
- イ 男君はこれからどうするのか、ということ
- ウ 右近はどうして生きていけるだろうか、ということ
- エ 御乳母はどうして死んでしまったのか、ということ
- オ 三位の君は今ごろどうしているだろうか、ということ

問十一 (文学部日本文学科・中国文学科・史学科のみ解答すること)

波線部(Y)の「いとしも人に」は、古歌「思ふとていとしも人にむつれけむしかならひてぞ見ねば恋しき」による表現である。それを踏まえて、何が「悔し」なのか、最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 59 にマークしなさい。

- ア 右近が夕顔に馴染んだこと
- イ 男君が夕顔に馴染んだこと
- ウ 男君が夕顔と出会ったこと
- エ 三位の君が右近を可愛がったこと
- オ 三位の君が夕顔を可愛がったこと

問十二 (文学部日本文学科・中国文学科・史学科のみ解答すること)

波線部 (Z) は、直接的には夕顔のどのような性情を指すか。最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 

60
----

 にマー

- クしなさい。
- ア 夕顔が「絵に描きたるやうにおもしろき」人であったこと
  - イ 夕顔が「かの御あたり去ら」ない人であったこと
  - ウ 夕顔が「頼もしき人」であったこと
  - エ 夕顔が「かしこく人になびかぬ」人であったこと
  - オ 夕顔が「ただやはらか」な人であったこと

〔文学部日本文学科・中国文学科・史学科は **必須**。文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は **選択**〕

文学部日本文学科・中国文学科・史学科は解答欄 **61** ～ **69** に、文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は解答欄 **61** ～ **68** に解答すること。

（文学部日本文学科・中国文学科・史学科は問一～問七で20点）

（文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は問一～問六で30点）

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、問いの都合で返り点・送りかなを省いた部分がある。

## 省 略

(注) ○孔子ー人名。 ○弁闘ー言い争い。 ○日中ー太陽が真南にある時。南中。 ○車蓋ー馬車にたてる大きな傘。

○盤盂ー手を洗う水をためる器。 ○滄滄涼涼ーひんやりとして涼しいこと。

問一 波線部(W)の語の意味として最もふさわしいものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、(W)は解答欄 61 に、(X)

は 62 に、(Y)は 63 にマークしなさい。

(W) 游			
61	ウ	イ	ア
エ	あそぶ	でかける	およぐ
まじわる			
(X) 以			
62	ウ	イ	ア
エ	そのために	つかう	おもう
やめる			
(Y) 去人			
63	ウ	イ	ア
エ	人に向かう	人と別れる	人との距離
人を避ける			

問二 傍線部(a)のように考える理由として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、解答欄 64 にマークしなさい。

ア 日の出の頃の方が涼しいから。

イ 太陽が南中する頃の方が暖かいから。

ウ 太陽が南中する頃の方が小さく見えるから。

エ 日の出の頃の方が小さく見えるから。

問三 傍線部(b)のように考える理由として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、解答欄 65 にマークしなさい。

ア 太陽が南中する頃の方が小さく見えるから。

イ 日の出の頃の方が大きく見えるから。

ウ 日の出の頃の方が暖かいから。

エ 太陽が南中する頃の方が暖かいから。

問四 傍線部(c)の解釈として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、解答欄 66 にマークしなさい。

ア 日の出の頃が遠いから暑く、南中の頃が近いから涼しいのではないか。

イ 日の出の頃が遠いから涼しく、南中の頃が近いから暑いのではないか。

ウ 日の出の頃が近いから大きく見え、南中の頃が遠いから小さく見えるのではないか。

エ 日の出の頃が近いから小さく見え、南中の頃が遠いから大きく見えるのではないか。

問五 傍線部(d)の解釈として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、解答欄 67 にマークしなさい。

ア 孔子は決めないわけにはいかないと思った。

イ 孔子は今決断すべきではないと考えた。

ウ 孔子は決めることができなかった。

エ 孔子は決断できると判断した。

問六 本文の内容に合致するものを、次のア～エの中から一つ選び、解答欄 68 にマークしなさい。

ア 両小児は、太陽までの距離はどのような視点からでも同じである、という結論を導き出した。

イ 両小児は、見かけの大小と気温の高低という異なった視点で、太陽までの距離について言い争っていた。

ウ 孔子は、両小児の議論については無駄な言い争いだとしてやめさせることにした。

エ 孔子は、両小児に言い争いの決着を求められたので、それに応じて結論を出した。

**注意** 文学部日本文学科・中国文学科・史学科は、次のページに問題が続きます。 ←

問七 (文学部日本文学科・中国文学科・史学科のみ解答すること)

二重傍線部の解釈として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、解答欄 

69
----

 にマークしなさい。

ア 誰があなたを何でも知っているといったのですか。

イ あなたはどちらの方が物知りだと思うのですか。

ウ 誰があなたに多くの知恵を授けたのですか。

エ あなたはどちらのために多くの知識を使いますか。







